

平成23年度 京都府立北桑田高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階・実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
1 学力の充実向上 2 希望進路の実現 3 地域から信頼され、地域の誇りとなる生徒の育成	1 成績不振者に対する事前指導を充実させ、不振科目の解消に繋がったが、学習が遅れがちな生徒に対してより組織的な取組が必要である。 2 厳しい就職環境の中、学校斡旋による希望者の内定率100%を達成し、進学においても国公立大学合格者11名をはじめ、生徒の希望進路が概ね実現できた。 3 各部活動が全国大会等で活躍し、森林リサーチ科の取組・研究で高い全国的な評価を得た。これらの成果について時期を得た地域への発信が必要である。	1 家庭学習・学習習慣確立のための組織的な確立（質の高い学力・進路指導の充実） 2 キャリア教育の充実（生涯にわたるキャリア形成） 3 教育活動の積極的な情報発信の推進（学校HP・広報活動の取組強化） 4 地元小・中学校及び地域との連携強化 5 部活動の活性化

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織・運営	学校評価システムの計画的・機能的な運用	生徒による授業評価アンケート、学校評価アンケート及び学校経営計画総括評価を計画的に行うとともに結果を公表する。 学校評議員や保護者による外部評価を充実させ学校改革に生かす。		
	学校組織体制の整備と各分掌機能の活性化 学校の将来像についての検討・コンセンサス形成	各種会議の計画的な開催と機能性を向上させ組織的な学校運営を行う。 普通科の類・類型の解消や入学生減少に対して学校の在り方・将来像を検討し、教職員間でのコンセンサス形成に努める。		
教育課程の編成と実施	新学習指導要領の円滑な実施	次年度の先行実施と次々年度の完全実施を踏まえて、それぞれの円滑な実施に努める。		
	学科に応じた特色ある教育課程の編成	平成24年度入学生普通科の類・類型の発展的な解消に伴って、柔軟で多様な進路選択が可能な教育課程を編成する。		
学習指導	家庭学習の強化	学習点検や居残り補習等を習慣化して、毎日の学習リズムを身につけさせるような指導方策を確立する。		
	成績不振者対策の強化	年度の早い段階から焦点化した個別指導を実施する。		
	出欠管理の徹底・欠席過多生徒への対応強化	毎日の出欠点検を行い、欠席が目立つ生徒には早期からの指導を徹底する。		
	授業規律の確保	授業中の私物の保管場所や携帯電話の扱いについて徹底する。 理由のない遅刻を根絶する。		
生徒指導 特別活動	より適正な社会常識と規範意識を育て正しい社会人となるための基礎を培う。	ルール違反についてはその場で適切な指導を行う。 集団の中の一員であるという自覚を促し、公共のマナーをこころえて、お互いが気持ちよく生活できるように指導する。		
	基本的生活習慣の確立と心身の健康を適切に管理できる能力の育成	朝の登校指導及び遅刻指導の実施 個別指導と全体指導を積極的に行う。		
	生徒会行事や部活動への積極的な参加を促し学校生活の充実度を向上させる。	学園祭を中心とした生徒会行事をより充実したものになるよう工夫する。 部活動への途中入部を勧める呼びかけを行い加入率を向上させる。		
進路指導	生徒の目的意識を高め、目標を明確にさせていくための系統的・計画的な指導の確立	各学年に応じた進路指導目標及び計画を充実させ、具体化に努める。 進路情報の収集・整理に努め、日常的な進路相談活動の充実を努める。 教職員向けの進路研修会を実施し、教職員の指導力を向上させ、一致協力した進路指導を推進する。		
	主体的な進路選択能力の養成と学力の向上	土曜補習、平常補習、長期休業中の系統的な進学補習を計画し、学力向上につなげる。 進路学習、進路説明会などの系統化と内容の充実を努める。 模擬試験の受験を積極的に勧め、進路希望実現につなげる。 資格、検定試験などの受験を勧め、進路希望実現の一助とさせる。		
	キャリア教育の推進	「府立高等学校キャリア教育推進に関する実践研究」指定校として、3年間を見通したキャリア教育の企画・立案に努める。 高大連携や地域事業所等、関係諸機関との連携を強化する。		
人権教育	生徒の人権を守る。	人権が侵害されない指導体制をつくる。 就職時における不適切な質問など、人権上の問題がないか留意する。		
	人権を守る教育を推進する。	人権学習を通じ、生徒に人権について考えさせ、人権を尊重する態度を養う。		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
健康・安全 教育	教育相談、特別支援教育の充実	本校SCの活用などによる教育相談活動の充実させる。 地域支援機関の研修機会を利用し、発達障害の理解に努め、具体的支援策を探る。		
	健康管理、健康教育により、生涯にわたる健康づくり	日々の健康観察や健康診断結果に基づく、健康指導の充実 保健便りなどにより、疾病の予防、ケガ事故防止に努める。 学年との連携により、生徒の課題を踏まえた保健学習の実施（1年薬物防止教室など）		
	校内美化に努め、清潔安全な学校環境・学習環境を維持する	ゴミのポイ捨てをしないなどの美化意識を持たせ、徹底した平常清掃・大掃除を実施する。 環境衛生検査・安全点検を的確に実施し、不良箇所を改善する。		
学校図書館	読書促進の環境づくり	朝読の実施 図書委員会と連携しての広報・展示の充実、イベントの開催		
	教科・分掌との連携	図書館教育会議の開催 積極的な資料・情報提供を行う		
	地域・PTAとの連携	HP、PTAだより、学校だよりを通しての活動紹介 長期休業中の図書館開放		
情報・文書 管理	新校務システムの稼働	研修等に積極的に参加し、新校務システムが円滑に進むように努める。		
	校内ネットワークの強化	共有フォルダ内のファイルの整理等を行い、校内ネットワークシステムを強化し、より一層機能させる。		
家庭・地域 社会との連 携	PTAとの連携を図る。	学校主体の運営を図り、PTAと具体的な活動を通して子どもの成長に繋がる活動を展開する。		
	地域との連携を図る。	南丹市、京都市との連絡調整を図り、本校の課題解決のための方策を提案する。 新学習指導要領の導入にともない、教科ごとに地域中学校と研究協議を行う。		
	広報活動の充実を図る。	HP、PTAだより、学校便りなど本校の教育内容のアピールを積極的に行う。 学校公開や説明会等での有効なアピールに努める。		
第1学年部	基本的生活習慣の定着	時間を大切にし、ゆとりある生活リズムで欠席・遅刻のない学校生活を送れるように導く。 挨拶がきちんとできる生徒を育成する。 家庭・中学との連携を密にする。		
	学習習慣の定着と自主活動への参加	日々の授業を最優先にし、家庭学習の充実を図る。また、教科担当と学年の連携を密にする。 進路意識の高揚を図り、模擬試験などにも積極的に参加するように指導する。 部活動への積極的参加を奨励し、勉強との両立を促す。生徒会活動や委員会活動を通じて、社会貢献できる人材を育てる。		
第2学年部	進路目標の設定	進路指導部と連携を図り、生徒のニーズにあった情報を提供できるようにする。また、受け身ではなく生徒自身が自らの意志で活動できるような環境をつくる。		
	学習習慣の確立	「やる気」と「集中力」の重要性を説き、効率よく学習する方法を習得させる。 模擬試験や各種資格試験の受験を勧め、目標を持って学習できるように支援する。		
	基本的生活習慣の確立と自主活動への積極的な参加	「あいさつができる」「掃除ができる」「時間をまもる」「身だしなみを整える」といった当たり前のことが、ごく自然にできるようになる。 生徒会行事・研修旅行・HR活動などに積極的に関わることで、コミュニケーション能力の向上を図る。		
第3学年部	生徒の希望進路の実現に向けて、保護者・他分掌・各教科との連携を図る。	保護者や教員間で情報を共有し、生徒へのタイムリーな指導を実践する。 全体指導だけでなく、個に応じた学習指導を行う。		
	より一層の学力向上を図り、最後まで高校生活を充実させるよう援助する。	進学補習や模試の積極的な参加を促し、学習意識を高める。 授業時間外も自主的な学習活動を行う。		
	よりよい社会人となるために公共のマナーとルールを意識して行動できるよう指導する。	部活動や学校行事などで、リーダーシップを発揮し、下級生のモデルとなるような活動を行う。		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
農場部	明確な進路目標を持ち目標に向け取り組む。	中国研修や一泊研修、専門の学習を生かした進路開拓と情報の充実 森林リサーチ科の学習内容にプライドを持って意欲的に取り組む。		
	資格取得の奨励と農業クラブ活動の充実	専門学科における資格取得を奨励し8割以上の教育長表彰を目指す。 7年連続全国農クラブ大会入賞と、府連大会事務局として大会を成功させる。		
	適切な農場管理と目標農場収入の達成	農場収入800万円の達成と完成度の高い作品作り 演習林、圃場の適切な管理と府内産木材の消費拡大に向け取り組む。		
寮務部	生活環境の維持を行い、設備の充実を図る。	施設、設備の点検、改善を行い、環境整備充実にも努める。		
	信頼を高め、安全で安心して生活するために寮生・保護者・各分掌との連携を図る。	寮生活に関する情報の共有化に努め、舎監相互の連携に努める。 業者(調理委託会社)との連携に努め、定期的な食事内容の検討にも努める。 登校下校時の通学安全の確保及び、地域との連携		
	円滑な寮生活を送るための、規則・ルールの徹底	愛情ある指導を行い、規則厳守の徹底をする。 寮生徒との対話を充実させ、学習習慣の定着にも努める。		
事務部	特色ある学校づくりを推進するための積極的、効果的な予算執行	学校が実施する各種事業や行事に連携・参画し、本校の特色づくりを進める。 学校の重点目標に配慮し、予算の厳正で効果的な執行を行う。		
	安心・安全・快適な教育環境の整備・充実	日常点検により施設設備の現状を把握し、教育環境の改善と充実を図る。 見本林遊歩道を地域にも開かれた場として充実整備する。		
	学校運営に積極的に参加する事務室	学校運営に事務室の役割を果たすため、教務部、進路指導部及び農場部の会議に参加し一層の連携を図る。 学校ホームページや広報など、学校情報の発信に積極的に関わる。		